

小論文（社会領域専攻）

【出題の意図】

設問 1（配点 5 点）

現代的な課題に関わる基礎用語の理解を確認するための設問である。

設問 2（配点 3 5 点）

名づけに関するマジョリティとマイノリティとの間の非対称性について解説した文章と、それに関連する具体例を描写した漫画を読み、論理的な文章の理解を踏まえて具体的な社会事象を分析し、表現できるかを問うた。

設問 3（配点 6 0 点）

差別のない社会の実現は、平和で民主的な社会の担い手として目指すべき課題である。それを前提として、文章と漫画という 2 種類の資料から差別をめぐる論点を正確に引き出し、学級さらには社会の内に差別に苦しんでいる人がいることへの想像力を、仮定した状況のなかで、教師としてどのように喚起できるかを問うた。

令和8年度 京都教育大学教育学部一般選抜（後期日程）

小論文（英語領域専攻）

【出題の意図】

設問1（配点 100 点）

出題の意図は、英語領域専攻での学びと関連の深い教科である英語について、その基礎的な知識と関心を持っていることを確かめることである。そのために、言語をテーマとする英文を出題して、内容を理解する力及び日本語で要約する力を評価した。

設問2（配点 200 点）

出題の意図は、受験生が教師として社会や教育現場に貢献しようとする志を持っていることを前提に、本問では課題について深く思考できるかどうかを確認することである。英語で書かれた課題文の内容を踏まえて、言語とはどのようなものかについての自分の考えを記述させ、思考力と表現力を評価した。

令和8年度 京都教育大学教育学部一般選抜（後期日程）

小論文（数学領域専攻）

【出題の意図】

設問1（配点100点）

教員になるためには、学習指導要領やその解説を読んで、該当する箇所を探し、内容を理解する能力は必須である。【数学編】中学校学習指導要領（平成29年告示）解説では、第2学年の一次関数の単元において、「一次関数の特徴を表、式、グラフで捉えるとともに、それらを相互に関連付けることで、一次関数についての理解を深める。」とある。そのためには、教員自身が一次関数の特徴について、表、式、グラフを関連付けて数学的に考察できることが求められる。本問では、そうした内容の指導の要点や留意点について、整理して論述することができるかを問うた。

設問2（配点100点）

教員になって算数・数学を教えるためには、公式や解法を単に覚えるだけではなく、背景や定義を理解し、それをわかりやすく説明することが求められる。本問では「ちょっとわかればこんなに役に立つ 中学・高校数学のほんとうの使い道」（京極 一樹 著）における「2の100乗・3の100乗は何桁か？」の内容を基に、指数関数・対数関数の分野、特に常用対数の応用に関する内容の理解度と説明能力を問うた。

小論文（理科領域専攻）

【出題の意図】

問1（50点）

(1) (20点)

人類の資源利用に関する資料を提示し、資源についての著者の見方を論述させ、論理的思考力、分析力等について評価した。

(2) (30点)

提示した資料の著者の意図を汲みとった上で、科学の発展について考察させる課題を提示し、自然科学に対する自身の考えを論述させ、考察力、表現力等について評価した。

問2（50点）

(1) (20点)

科学における実験で、予想を立てる意義に関する資料を提示し、資料における著者の考えを要約させ、分析力、表現力等について評価した。

(2) (30点)

科学における実験で予想を立てる意義について、著者とは異なる考えを論述させ、考察力、論理的思考力、表現力等について評価した。

令和 8 年度 京都教育大学教育学部一般選抜（後期日程）

実技検査（美術領域専攻）

【出題の意図】

イメージデッサン（鉛筆）

設定されたテーマやモチーフをもとにして、鉛筆の特性を活かしつつ、イメージを可視化する力、基本的な形・質感・色・特性等を描き分ける力、空間を表現する力、的確な構図をつくる力、出題内容や条件等を理解する力など、基本的な造形力を総合的に表現できているか検査する。

プレゼンテーション

解答した作品の制作意図や制作プロセスについての説明、質疑応答をとおして、言葉で表現する力、コミュニケーション能力などを総合的に検査する。

配点 400 点（イメージデッサン（鉛筆）＋プレゼンテーション）

実技検査（音楽領域専攻）

【出題の意図】

〈楽典〉（100点）

設問1（24点）

音程についての知識を問う。

設問2（24点）

西洋音楽の音階をもとに調号や関係調、ト音記号とヘ音記号、アルト記号の知識を問う。

高校までの教科書に記載された日本の音階と、日本の音名表記の知識を問う。

設問3（12点）

西洋音楽の音階をもとに、音階構成音と調を構成する和音、調名についての知識を問う。

設問4（18点）

一般的な楽語についての知識を問う。

設問5（22点）

三の和音と七の和音の種類とその転回形についての知識を問う。

〈器楽〉

器楽演奏の基礎的能力（読譜力・リズム感・音程・和声感など）及び音楽性を問う。

〈声乐〉

声乐の基礎的能力（読譜力・リズム感・音程など）及び音楽性を問う。

〈ピアノ〉

基礎的なピアノ演奏能力及び音楽性を問う。

令和8年度 京都教育大学教育学部一般選抜（後期日程）

小論文（体育領域専攻）

【出題の意図】

問い（配点100点）

体育領域専攻では、体育・スポーツに強い関心を持ち、それらを科学的・実践的な視点から考え、主体的に学び続けることのできる人物を求めている。

本問題では、体力の構成要素のうち行動体力に着目し、その各要素の基礎的な知識の理解を確認するとともに、それらの要素を高めるためのトレーニング方法を具体的に関連付けて説明できる力を評価することを目的としている。

体育・スポーツの現場においては、対象者の発達段階や向上させたい体力を捉えて、適切に運動を処方することが重要である。そこで本設問では、高校までの保健体育の授業で学ぶ体力要素の特性とトレーニング方法の関係について問い、具体的な事例を用いて説明することを求めている。

解答においては、体育・スポーツに関する基本的な知識や理解に加え、課題に対する論理的な思考力、具体例を用いた説明力、文章として適切に構成・表現する力を総合的に評価する。